



かさおか 12月

来年の干支は



『やようなら2022年』

今年7月に実施した中学生200人アンケート、いくつかの設問の中で「住み続けたい」理由として「地域が平和」といった意見がありました。私たちが安心して暮らせる一番の要であり、生活の原点ではないでしょうか。

新型コロナウイルスが出現して以来、地域活動に大きく影を落とし、徐々に回復の兆しが見えて来ましたが、まだまだ油断はできないようです。

地域社会は自助・共助の精神の下、住みやすい町を目指しながら歳月をかけて今日に至っており、未来へと繋がって行きますが、私共のまちづくり協議会もその一翼を担っています。

こうした中、6月には3年ぶりに総会を開催させて頂き、地域社会における絆の大切さを改めて感じた次第です。

そして、今年は市制施行70周年という節目を迎え、各地域で色々な記念行事が行われて来ましたが、笠岡小さな映画館プロジェクトでは、5月と10月に「笠岡発見ミニ映画祭」を開催し、トークショーや映画上映会を通じて笠岡の魅力を再発見して頂きました。

また、駅前コラボin笠岡も年末の点灯式に向かってイルミネーションの設置が本格化します。各高校では急ピッチで制作が進んでおり皆様の温かいご声援をよろしく願います。

ところで、来年の干支は「癸(みずのと)卯(う)」。「家内安全・飛躍・向上の意味があるとか。本当に良い年になって欲しいですね。会長

★笠岡小さな映画館プロジェクト

○定例映画会 12月4日(日)
午前10時から

★駅前コラボin笠岡

○クリスマスイルミ点灯式
12月17日(土)午後5時～

★12月29日から1月3日まで
年末年始のため休館します。



『笠岡地区まちづくり協議会』

事務所：笠岡市笠岡2627番地

「井戸会館」内

電話：63-5949

Fax：75-0101

E-mail：zukuri2@mx1.kcv.ne.jp

開館日：月・水・金曜日 14時～17時

『笠岡今はむかし物語』

その巻



昭和初期の写真

敷島紡績は明治27年8月に笠岡紡績として開業、当時の従業員は約600人で、そのうち約500人が女工さんでした。そののち明治42年に福島紡績となり、さらに社会経済情勢が変動するなか、昭和17年に敷島紡績笠岡工場と改称しました。創業以来綿花を原料とした撚糸や細糸、高級メリヤスを製造し、終戦後の25・26年には、朝鮮動乱で特需景気にわきフル操業が続いた時代もありましたが、昭和50年頃から綿糸は不況になり、アクリル繊維や安い外国製品におされて昭和53年3月25日に工場は閉鎖となりました。

この写真は、笠岡駅の東にあった八軒屋第2踏切を渡っている親子連れ、工場の看板は「福島紡績笠岡工場」の文字が見えます。また、右の奥には陸橋が写っており本当に懐かしい貴重な写真です。

参考文献：笠岡史談20号「敷紡笠岡工場」

「笠岡市防災訓練を実施」

11月6日、笠岡小学校において防災関係者約400名が参加し、自主防災組織による避難所の運営、消防団の救出救助・心肺蘇生訓練、災害救助犬のデモンストレーションなどが行われました。

笠岡市では、有事に備えて自主的な避難所の運営を目指し各地域に組織されている自主防災会が連携した訓練を毎年実施しており、今年は中央ブロック(笠岡・富岡・番町・今井新横島・緑町)が参加して、本番さながらに避難所の開設・避難者の誘導・避難用テントの設置などに取り組みました。



ダンボールベッドの組み立て

編集後記

2022年最後の会報になりました。

一年を振り返ってみると、やはり新型コロナの影響が大きく、変異を重ねながら私たちの生活を脅かしています。マスクの着用・手指の消毒等基本的な感染対策に努めて元気で新しい年を迎えましょう。 I・M

☆ 令和4年火災発生状況 【笠岡消防署】

10月末現在 ()内は3年中

| | | | |
|-------|----|---|-------|
| 笠岡市 | 33 | 件 | (26件) |
| うち笠岡 | 1 | 件 | (0件) |
| 建物火災 | 1 | 件 | (0件) |
| 林野火災 | 0 | 件 | (0件) |
| その他火災 | 0 | 件 | (0件) |

☆火災予防全国統一防火標語

『おでかけは マスク 戸締り 火の用心』